

MapleNote 周産期システム

周産期における母子の診療記録を一元管理しスムーズな診療を実現

MapleNoteは、周産期における母子の診療記録を一元管理しスムーズな診療をサポートするシステムです。

当製品は、妊婦健診経過の時系列参照機能やバルトグラム機能、助産録や分娩記録、出生証明書といった文書記載機能など周産期システムに必要な機能を搭載していることはもちろん、医療機関の運用に合わせて運用フローに沿った画面を自由度高く構成できるのが特長です。各データの入力にも工夫を凝らしており、連携機能や引用機能の強化によりデータの自動取り込みや引用を行いスムーズな入力を実現。入力したデータは時系列で参照したり、過去の周産期情報も参照することができ、産科医だけでなく様々な職種のスタッフが必要な情報を即座に把握することができます。

MapleNoteの特長

医療機関の運用に合わせて自由度高く画面や書式を構成しスムーズに入力

簡単な設定で画面上に表示させる機能や入力画面の項目、書類のレイアウトを自由に作成・変更することができます。他システムや機器との連携、引用機能によりスムーズにデータを入力することも可能です。

画像ファイリング機能の充実

画像ファイリングシステム Claioを組み合わせることで、胎児エコーや経膈エコー、コルポなどの検査機器のデータをファイリングします。DICOM エコーはもちろん、アナログエコーからも画像や動画を取り込むことができます。

ハイリスク妊婦向けカルテ機能の充実

詳細な妊婦健診の記録や手術記録が必要となるハイリスク妊婦の多い医療機関においては、C-Note を組み合わせることでカルテ機能を充実させることができます。Claioでファイリングしている画像を活用し、自由にカルテ記載を行う事も可能です。

MapleNoteを利用した周産期医療の流れ

～11w	妊娠判明～出産まで			40w前後	産後4w	産後6～8w
	初期(～23w)	中期(24～35w)	後期(36w～)			
妊娠判明 分娩予定日決定	妊婦健診 4wに1度 妊娠週数に応じて、健診/検査内容は異なる	妊婦健診 2wに1度	妊婦健診 1wに1度	分娩 状態によって新生児はNICU・GCUに入る	1か月後健診	産褥期
MapleNote 利用開始	診療	妊婦健診、スクリーニング、成長曲線			経過の閲覧	経過の閲覧
	文書	プロフィール、妊娠指導(保険指導)記録、助産録			分娩記録、死産証明書、新生児情報提供書 新生児所見、出生証明書	1か月後健診

他システムを組み合わせることで、さらに高度な利用が可能に

様々な様式の二号紙記載に対応する C-Note を利用することで、紙カルテに近い自由なレイアウトにてカルテを記述・閲覧することが可能になり、妊婦及び胎児の状態をより詳細に記載することができます。

Claio 画像ファイリングシステム



胎児エコー、経膈エコー、コルポなどの各検査機器のデータをファイリング

MapleNote 周産期システム



妊婦健診・バルトグラムなど、妊娠から出産直後までのデータを一元管理

C-Note 診療記事記載システム



ハイリスク妊婦が多い病院では、手術記録や日々の診察記事を詳細に記録

スムーズな診療を支援する様々な機能

豊富な入力テンプレートや連携・引用機能によりスムーズに入力が行える他、必要な情報を時系列で参照することができます。



妊婦健診

前期・中期・後期、重症度に合わせてテンプレートを利用して入力を行います。エコー画像やDICOM SRで出力される胎児の計測情報、胎児の体位や胎盤の位置を記入したシェーマを利用して経過を時系列で参照することができます。



バルトグラム

分娩分類に従って入力項目を変更することができます。参照方法も、所見を中心とした短冊表示での参照や、子宮開大度や児頭下降度などのグラフでの参照も可能です。また、CTG連携によりビューアを起動することもできます。

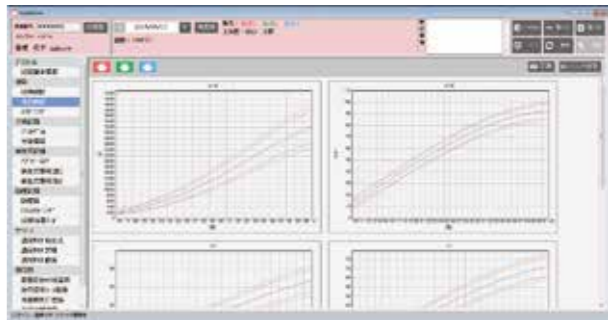


助産録

アプガースコアからのデータ引用や新生児SD値の自動計算により、効率的に記録や書類作成が行なえます。長期間に渡り記載を行う為、誰がいつどのような内容を追記・修正したのかという履歴管理も行います。

スクリーニング

胎児の特徴・症例に合わせたスクリーニングシートを利用しスムーズに記録を行います。経過は、妊婦健診同様に時系列で参照することができるので、異常の早期発見に役立てることができます。



成長曲線

これまでの健診結果の推移を基準値と比較しながら週数を追って参照します。妊婦健診画面で測定結果を入力すると自動的にグラフが生成され、EFWやBPD、AC、FL、SLといった指標毎に胎児の発育を確認できます。



アプガースコア

分娩後1分、5分、10分の胎児の状態を記録します。クリック操作だけで簡単に情報を入力しスコアリングを行います。問題のある項目については色分けして表示することにより、異常を見逃すことなく即座に確認できます。

分娩記録

バルトグラムからデータを引用することで、二重入力を行うことなく効率的に記録を作成します。経過時間の計算や酸素吸入量の計算などもシステムが自動的に行なう為、スムーズに記録を作成し印刷することができます。

日産婦統計機能

日本産科婦人科学会の行う妊産婦統計の為のデータ出力機能を標準搭載しています。期間を設定してCSV出力しFileMakerにインポートするだけでデータを提出できる他、院内の統計などにも活用することができます。

その他文書機能

新生児情報提供書や助産録を院内の書式に合わせて作成できる他、現在紙で記載している様々な書類もMapleNoteで記載することができます。

(書類例) 出生証明書、保健指導カード、1か月後健診など